

ベネッセファミリー

Benesse Family

Vol. 48

第61期 株主通信

2014年4月1日 — 2014年9月30日

【証券コード：9783】

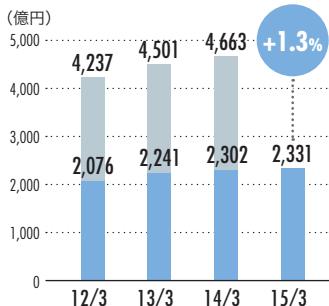


株式会社 ベネッセホールディングス

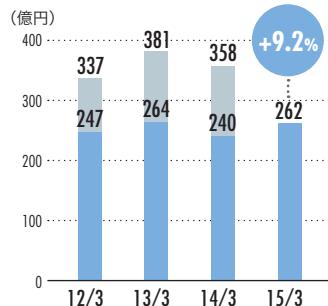
<http://www.benesse-hd.co.jp/>

連結業績ハイライト

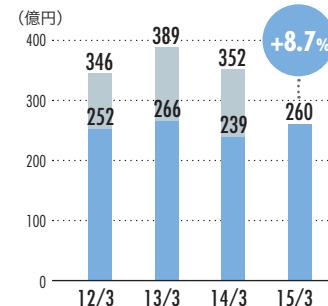
売上高



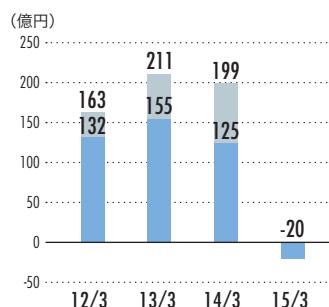
営業利益



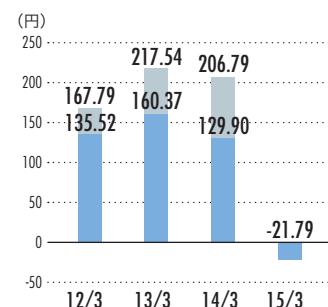
経常利益



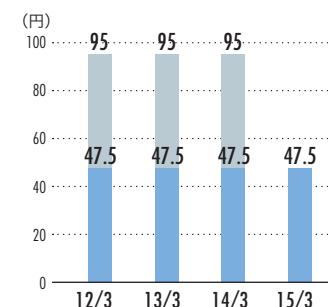
当期純利益 (損失)



1株当たり当期純利益 (損失)



1株当たり配当金



■ 通期 ■ 上半期

▶▶ 2015年3月期の連結業績予想

売上高は、主力の国内通信教育講座の4月の会員数が減少したことに加え、お客様情報の漏えい事故を受けて新規営業活動を停止したことに伴うマイナス影響があったものの、シニア・介護事業の伸長、及び中国の通信教育事業の業績拡大と円安による為替換算時のプラス影響等により、増収を予想しています。

また、利益面では、中国の通信教育事業の増収による増益、及びグループ全体のコスト構造改革による費用削減があるものの、国内通信教育講座の減収による減益等により、営業利益、経常利益ともに減益を予想しています。

なお、当期は、特別損失としてお客様情報の漏えいに伴う情報セキュリティ対策費や、構造改革費用等を見込んでおりますが、今後変動する可能性があるため、当期純損失を△90億円から△10億円の幅で予想しています。

連結業績予想

(億円)

	14/3	15/3(予)	前期比増減率
売上高	4,663	4,670	+0.1%
営業利益	358	280	△21.9%
経常利益	352	265	△24.8%
当期純利益[損失]	199	△90~△10	—
1株当たり当期純利益[損失] (円)	206.79	△93.56 ~△10.40	—

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本年6月21日に、代表取締役会長兼社長に就任いたしました原田 泳幸でございます。

当上半期の当社グループの連結業績は、対前年同期比増収、営業利益、経常利益は増益となりました。一方、特別損失の計上により純損失となりました。

社長就任から約5カ月、お客様情報漏えいの問題では、徹底した原因究明と再発防止の対策を行うとともに、グループ全体の成長に向けた経営方針を描き、経営体制、組織や風土の改革を行ってまいりました。また、今後の成長をより一層加速するため、商品・サービスやマーケティング等、ビジネスモデルの抜本的な改革に着手しております。

商品・サービスにつきましては、デジタルを活用した教材の拡充や、進研ゼミと塾との連携など、グループの総合力を活かし、競争力を強化いたします。

マーケティングにつきましては、お客様との接点の創出に大きく舵を切ります。11月1日にオープンした地域の学びの相談窓口「エリアベネッセ」を中心に、当社グループの強みである赤ペン先生、塾の先生、教材の編集者といった人の力と教育の知見を活かし、お客様との直接のコミュニケーションを重視してまいります。

国内英語事業、学校事業、介護・保育事業、海外教育事業、海外語学事業等、それぞれの成長領域においても、新しいリーダーシップのもとで更なる成長を目指します。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2014年11月
代表取締役会長兼社長
原田 泳幸



▶▶ 株主還元(配当)について

当社グループは、株主の皆様への積極的な利益還元に努めています。

- 配当性向(配当金支払額÷当期純利益)35%以上を目処に継続的な利益還元に努めます
- 1株当たり年間配当金(配当性向)
2014年3月期 : 95円(45.9%)
2015年3月期(予) : 95円(—)

事業領域別の概況

国内教育



(株)ベネッセコーポレーション

- 「進研ゼミ」「こどもちゃれんじ」
- 「進研模試」

(株)アップ

(株)東京個別指導学院 等

- 学習塾事業

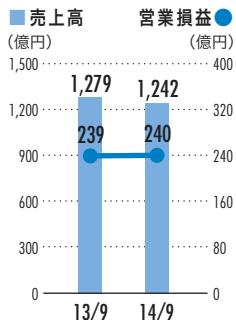
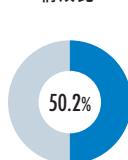
売上高 **減収(-2.9%)**

- 通信教育講座の延べ在籍数の減少等

営業損益 **増益(+0.5%)**

- 販売費の減少
- 学校向け教育事業の増収に伴う増益等

事業別売上高
構成比



海外教育



(株)ベネッセコーポレーション

倍楽生商貿(中国)有限公司

- 通信教育事業

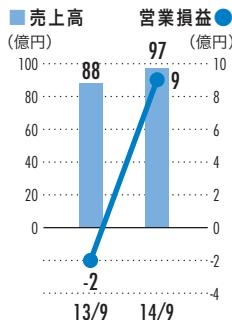
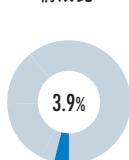
売上高 **増収(+9.1%)**

- 中国における通信教育講座の延べ在籍数の増加
- 円安による為替換算時のプラス影響等

営業損益 **増益(12億円の改善)**

- 増収に伴う増益等

事業別売上高
構成比



生活



(株)ベネッセコーポレーション

- 雑誌事業
「たまごクラブ」「ひよこクラブ」
- 通信販売事業
「たまひよSHOP」等

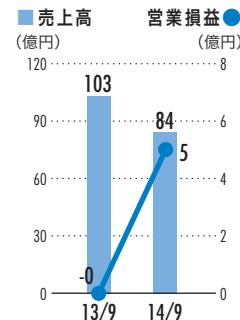
売上高 **減収(-18.9%)**

- 食材宅配事業の収束
- 通信販売及び雑誌の減収等

営業損益 **増益(5億円の改善)**

- コスト削減等

事業別売上高
構成比



(注1) 組織変更に伴い、2015年3月期第1四半期よりセグメント区分の変更を行いました。
2013年9月期の数値は、変更後の区分方法により作成しています。

(注2) 各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高が含まれています。

シニア・介護



(株)ベネッセスタイルケア

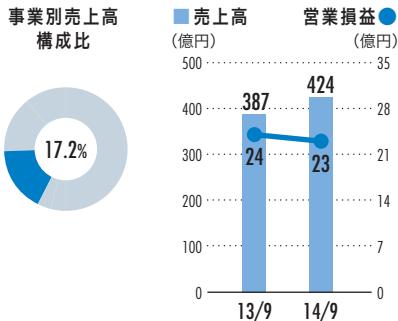
- 入居介護サービス事業
(高齢者向けホーム及び住宅の運営)
- 在宅介護サービス事業
- 保育園運営事業

売上高 **増収(+9.6%)**

- 高齢者向けホーム及び住宅数の拡大に伴う入居者数の増加等

営業損益 **減益(-4.9%)**

- 新規事業の立ち上げ費用の発生等



語学・グローバル人材教育



ベルリッツ コーポレーション

- 語学教育事業
- グローバル人材育成事業
- 留学支援事業

(株)サイマル・インターナショナル

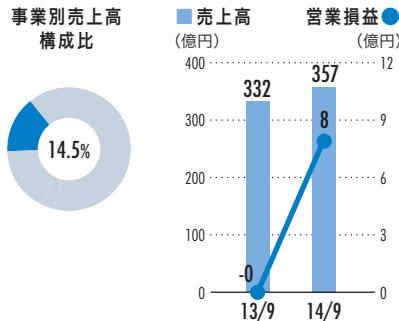
- 通訳・翻訳事業

売上高 **増収(+7.6%)**

- 円安による為替換算時のプラス影響等

営業損益 **増益(9億円の改善)**

- 事業構造の改善による人件費の減少等



その他



(株)TMJ

- テレマーケティング事業

(株)シンフォーム

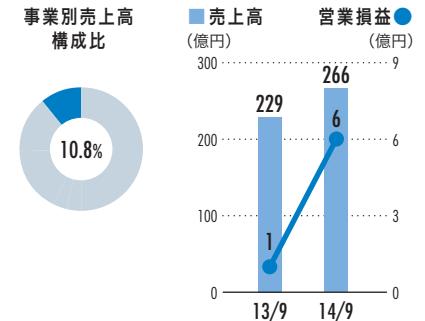
- コンピュータ情報処理サービス事業

売上高 **増収(+16.1%)**

- (株)TMJの増収等

営業損益 **増益(+388.4%)**

- (株)TMJの増収に伴う増益等



トピックス

「エリアベネッセ」をオープン

(株)ベネッセコーポレーションは、2014年11月1日、地域の学びの相談窓口「エリアベネッセ」を青山(東京都渋谷区)と西葛西(東京都江戸川区)にオープンしました。2015年4月には、全国500カ所に展開する計画です。

エリアベネッセは、対面での学びに関するコンサルティングサービスを提供することで、お客様に寄り添い、より長く続けていただくほか、新しいお客様との接点となり、ベネッセグループの商品・サービスに関心をもっていただくことを目的としています。



エリアベネッセ▶<http://area-benesse.jp/>

「ベネッセ 学童クラブ生田」をオープン

(株)ベネッセスタイルケアは、2014年9月、初の学童保育事業として、有料老人ホーム・デイサービスセンターとの複合施設内に、「ベネッセ 学童クラブ生田」(神奈川県)をオープンしました。

ベネッセ学童クラブでは、学びと遊びのリズムを作り、「学びに向かう力」を楽しみながら育みます。また、お子さまを安全にお預かりし、学習の習慣づけをサポートし、体験を通した幅広い学びを実現することで、育児と仕事の両立を支援します。



ベネッセの学童クラブ▶<http://gakudou.benesse-style-care.co.jp/>



ベルリッツ・ジャパン

ベルリッツ・ジャパン(株)(以下、ベルリッツ)では、企業のグローバル化の加速、文部科学省のグローバル人材育成推進の流れを受け、学校向け事業を強化しています。年間100校以上の中学校・高等学校・大学に語学教育のサービスを提供しています。



Berlitz[®]

▶西大和学園中学校・高等学校に外国人教師を派遣

奈良県の有名進学校である西大和学園中学校・高等学校の授業に、ベルリッツの教師を特別常勤講師として派遣しています。対象となる授業は美術、情報、音楽、体育、国際理解で、内容は学校側の要望に応じて進めます。英語を「学ぶ対象」から「使う道具」へと意識を変えることを目指し、授業はすべて英語で行い、世界で活躍するリーダーを育てます。

▶近畿大学「外国語・国際系学部」開設構想に連携協力

近畿大学・第14番目の新学部「外国語・国際系学部」の開設構想(2016年4月予定、名称未定)に連携協力し、グローバルビジネスにおいて即戦力となる人材育成のノウハウや留学プログラム等を提供します。学部開設への協力は、今回が初めてです。

会社概要

(2014年9月30日現在)

商号	株式会社ベネッセホールディングス (英文表記) Benesse Holdings, Inc.
本社所在地	〒700-0807 岡山県岡山市北区南方三丁目7番17号
創業	1955年1月28日
資本金	136億円
従業員の状況	連結従業員数 20,883名 (注) このほか臨時従業員として1,688名(期中平均)がいます。
取締役・監査役	代表取締役会長兼社長 原田 泳幸 代表取締役副社長 福原 賢一 常務取締役 小林 仁 取締役* 安達 保 取締役* 岩瀬 大輔 取締役* 岩田 眞二郎 取締役* 辻村 清行 取締役* 福武 英明 常勤監査役 松本 芳範 常勤監査役 桜木 君枝 監査役** 和田 朝治 監査役** 高橋 伸子

* は社外取締役です。** は社外監査役です。

株式の状況

(2014年9月30日現在)

発行済株式の総数 102,453,453 株

株主数 40,932 名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	16,253	16.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	8,115	8.43
公益財団法人福武財団	5,008	5.20
株式会社中国銀行	2,787	2.89
福武信子	2,769	2.87
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	2,444	2.54
福武純子	2,155	2.24
株式会社南方ホールディングス	1,836	1.90
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 中国銀行口	1,600	1.66
福武美津子	1,575	1.63

(注1) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社の持株数には、福武總一郎氏及び福武れい子氏が全額出資し、福武總一郎氏が代表を務める資産管理及び投資活動目的の法人であるイーエフユー インベストメント リミテッドが信託財産として拠出している株式13,618千株(持株比率14.15%)を含み、委託された信託財産の議決権行使に関する指図者はイーエフユー インベストメント リミテッドです。イーエフユー インベストメント リミテッドはこのほかに、1,049千株(持株比率1.09%)を直接保有しています。

(注2) 当社は自己株式6,263千株を保有しています。当該株式会社には議決権がないため上記大株主からは除外するとともに、持株比率の算出についても、当該株式数を控除しています。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL: 0120-094-777(通話料無料)
土日祝日を除く平日9:00～17:00

公告の方法
電子公告により行う
公告掲載 URL <http://www.benesse-hd.co.jp/>
事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を
することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

株式事務のお取り扱い

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取り扱いいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

本誌に関するお問い合わせ先/広報・IR部(東京本部)

〒163-0416 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング
TEL: 03-5320-1940(代表)

株式・配当に関するお問い合わせ先/広報・IR部(岡山本社)

〒700-0807 岡山県岡山市北区南方3-7-17 TEL: 086-225-1165(代表)

将来見通しに関する注意事項

本株主通信に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関係する見通しであります。これらは現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しにのみを依拠して投資判断を下されることはお控えいただきますようお願いいたします。

2014年11月28日発行 発行元: 株式会社ベネッセホールディングス

表紙写真 アート: 草間彌生「南瓜」1994

「ベネッセアートサイト直島」は、瀬戸内海の直島、豊島、犬島を舞台に、(株)ベネッセホールディングス、(公財)福武財団が展開しているアート活動の総称です。日本の原風景ともいえる瀬戸内の自然や、地域固有の文化の中に、その場所にしかない現代アートや建築を作り上げていく活動を行っています。

ベネッセアートサイト直島

<http://www.benesse-artsite.jp/>

